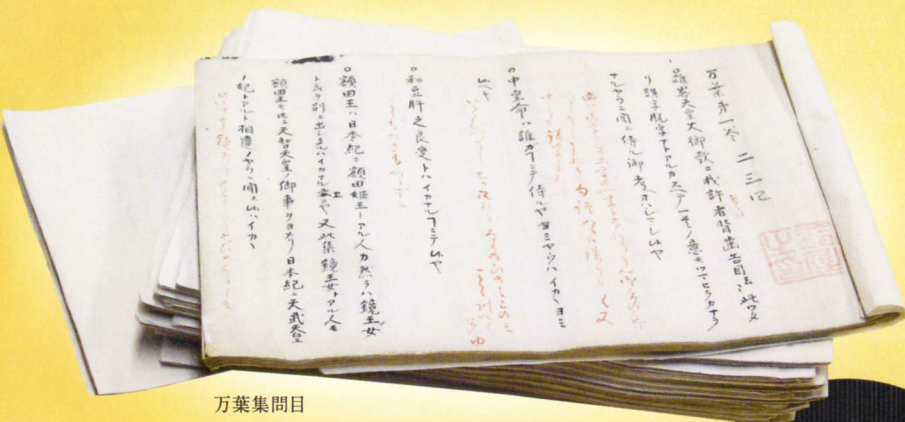


リニューアル記念

会う、継ぐ、めぐる

— 宣長の出発展 —

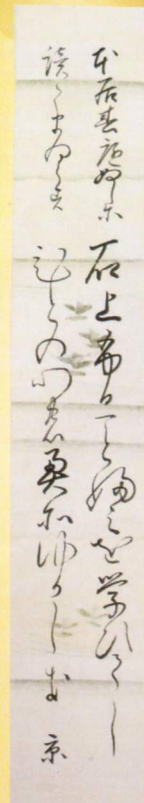
前期 3月1日水 ~ 4月23日日 後期 4月25日火 ~ 6月4日日



万葉集問目



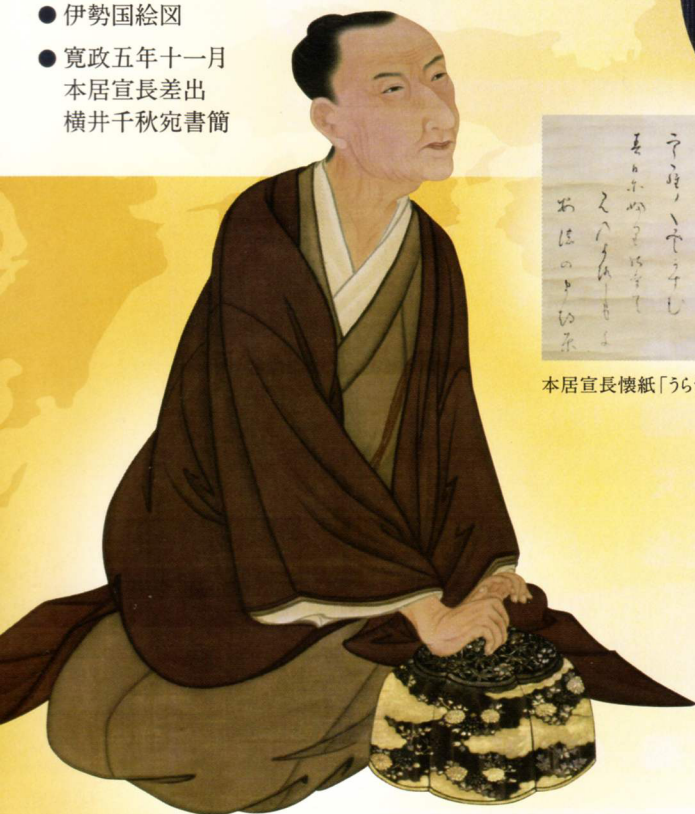
四五百の森画賛



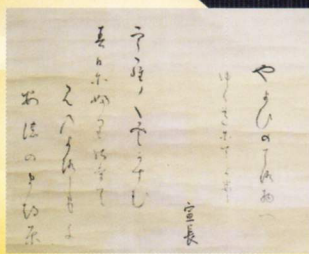
帆足京短冊

主な展示品

- 本居宣長「本末の歌」
- 伊勢国絵図
- 寛政五年十一月 本居宣長差出 横井千秋宛書簡



本居宣長七十二歳像



本居宣長懐紙「うららと」

公益財団法人鈴屋遺蹟保存会 本居宣長記念館

〒515-0073 三重県松阪市殿町1536-7
TEL 0598-21-0312
FAX 0598-21-0371

開館時間 9時~17時(最終入館 16時30分)

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌火曜日)
年末年始

入館料 大人400円
大学生300円
小学4年生~高校生200円

<http://www.norinagakinenkan.com>

《会う・出会いは偶然ではない》

京都のエピキュリアン堀景山先生、「松阪の一夜」賀茂真淵先生など、宣長の生涯は幸運な出会いに満ちている。でもそれは、求める心と綿密なリサーチがあったから。

《継ぐ・未来を見据える目》

宣長の家と三井家は隣り合っている。三井高利は日本の流通革命を引き起こした。宣長は、物まなびの力と学問の未来を信じ、わが国に学問の流通革命を起した。松阪には、未来を見据える目がある。

《めぐる・学ぶ喜び》

常に考え続け、教えて倦むことがない強靱な精神と工夫の数々は、多くの人々に学ぶ喜びを伝え、18世紀の末、知のネットワークが形成された。日本はいよいよ近代に向けて大きな一歩を踏み出した。



至名古屋・大阪